

ArcGIS

10.2.2

ArcGIS for Desktop

国内データ変換ツール一覧

内容

概要	2
データ フォーマット別変換ツール一覧.....	3
国土交通省.....	3
国土地理院.....	3
ゼンリン	4
OGC.....	4
その他	5

概要

ArcGIS 10.2.2 for Desktop で提供している国内データ変換ツールをデータ フォーマットごとに一覧でご紹介します。変換ツールの入手方法は、大きく分けて 2 つあります。1 つは、ArcToolbox にある [変換ツール (国内データ)] ツールセットに含まれるジオプロセッシング ツールを利用する方法です。このツールセットは「国内対応パック」をインストールすると利用できるようになります。

2 つめは、Esri 製品サポート ページからカスタム ツールをダウンロードし、インストールする方法です。製品サポート ページは以下からアクセスできます。

<https://www.esri.com/support/esri/>

各種ツールの詳細な操作説明は、各ツールのヘルプをご参照ください。

データ フォーマット別変換ツール一覧

国土交通省

フォーマット	ツール名	ジオプロセシング	カスタムツール
DM/拡張 DM	DM → ジオデータベース	●	
地籍フォーマット 2000	地籍フォーマット 2000 → ジオデータベース	●	
河川基盤地図/河川環境情報地図/ ダム環境情報地図	河川地図データ対応ツール		●
国土数値情報 1/10 細分区画 土地利用データ	数値地図データ変換ツール		●

国土地理院

フォーマット	ツール名	ジオプロセシング	カスタムツール
数値地図 2500 (空間データ基盤)	数値地図データ変換ツール		●
数値地図 25000 (空間データ基盤)			●
数値地図 10000 (総合)			●
数値地図 500 万 (総合)			●
数値地図 25000 (行政界・海岸線)			●
数値地図 200000 (行政界・海岸線)			●
数値地図 25000 (土地条件) ※1			●
数値地図 5000 (土地利用) ※1			●
数値地図 5m メッシュ (標高)			●
数値地図 50m メッシュ (標高)			●
数値地図 250m メッシュ (標高)			●
数値地図 10m メッシュ (火山標高)			●

数値地図 1km メッシュ (標高/平均標高)	数値地図データ変換ツール		●
2m メッシュ標高データ (中越)			●
1m メッシュ標高データ ※2			●
細密数値地図情報 (10m メッシュ土地利用)			●
数値地図 25000 (地図画像)	数値地図画像変換ツール		●
数値地図 50000 (地図画像)			●
数値地図 200000 (地図画像)			●
基盤地図情報 基本項目 ※3	基盤地図情報 (GML) の インポート	●	
基盤地図情報 数値標高モデル ※3		●	
数値地図 (国土基本情報) GML 形式	基盤地図情報 (GML) の インポート	●	
電子地形図 25000	電子地形図 25000 変換ツール		●
地理院地図	地理院地図対応ツール		●

ゼンリン

フォーマット	ツール名	ジオプロ セシング	カスタム ツール
Zmap-AREA II (テキストデータ)	Zmap-AREAII 対応ツール		●
Zmap-TOWN II ※4	Zmap-TOWNII 対応ツール		●

OGC

フォーマット	ツール名	ジオプロ セシング	カスタム ツール
OGC GML Simple Features	Quick Import	● ※5	
OGC Web Feature service(WFS)		● ※5	

その他

フォーマット	ツール名	ジオプロセシング	カスタムツール
SIMA (測量データ共通フォーマット)	SIMA → ジオデータベース	●	
G-XML 2.0	G-XML → ジオデータベース	●	
JMC マップ	数値地図データ変換ツール		●
SXF Ver.3.0 ~ 3.21	SXF → ジオデータベース	●	
GEOSPACE CDS	GEOSPACE CDS 対応ツール		●

※1 数値地図 25000 (土地条件)、数値地図 5000 (土地利用) は、地理情報標準 (JPGIS) 1.0、2.1 版に準拠した XML 形式で記述されたものに対応しております。

※2 一般に販売されているのは 1km、250m、50m、10m、5m および 2m メッシュ (標高) のデータですが、仕様に沿った 1m のデータもファイルの格納形式を変更することで変換できます (すべてのデータに対応しているわけではありません)。仕様は[こちら](#)をご参照ください。

※3 [基盤地図情報 (GML) のインポート] ツールは、基盤地図情報の JPGIS (GML) 2.0、2.1、2014 形式に対応しています。

※4 Zmap-TOWN II は ZMD フォーマット レベル 1-5 に対応しております。

※5 [Quick Import] は Data Interoperability エクステンションをインストールすると使用できます。Data Interoperability エクステンションを利用するにはライセンスが必要になりますが、OGC GML Simple Features のインポート/エクスポート、OGC WFS のインポートに限り、ライセンス無しでもご利用になれます。[Quick Import] は [Data Interoperability Tools] ツールセットからアクセスできます。詳細は「FAQ:[OGC GML Simple Features、OGC WFS をインポートするには](#)」をご参照ください。

ArcGIS 10.2.2 に関するパッチやサービス パックが随時リリースされる場合があります。不具合などの重要な問題を修正する可能性がありますので、最新の情報については、以下の Web サイトを参照してください。

<http://www.esri.com/support/esri/>

※ESRI ジャパン サポート ページを参照するにはログインする必要があります。

ArcGIS for Desktop 国内データ変換ツール一覧

2014年12月

ESRI ジャパン株式会社

<http://www.esrij.com/>

Copyright(C) Esri Japan. 無断転載を禁ず

本書に記載されている社名、商品名は、各社の商標および登録商標です。

本書に記載されている内容は改良のため、予告なく変更される場合があります。

本書の内容は参考情報の提供を目的としており、本書に含まれる情報はその使用先の自己の責任において利用して頂く必要があります。

